

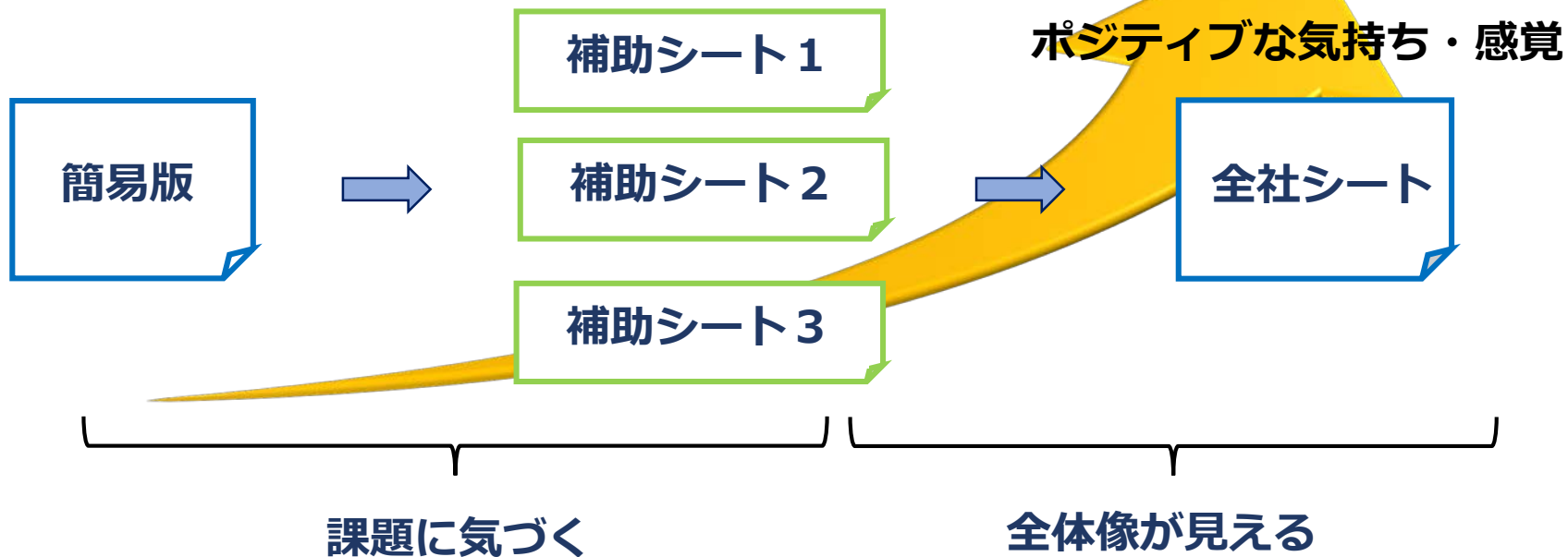
近未来の環境変化を踏まえて経営方針を定める

- ①資料の収集（市内の人口変化予測、IT環境の深化）
- ②ケーブルテレビ業界の未来予測と2025年頃の想定環境
- ③当社契約者の状況予測（生活の変化、当社の役割の変化）
- ④これらを元に社内経営陣でブレインストーミング⇔変化状況展望
- ⑤契約者市民にとって必要なこと・当社が近未来にできることを検討
- ⑥現在の事業と近未来の事業で必要なことを比較検討・追加&削除
- ⑦近未来の姿へ移行のために必要な資源&解決策の検討と具体化
- ⑧「近未来に当社が提供する価値」は何か？を具体化
- ⑨経営デザインシートへの落とし込み⇔点検⇔①～⑧

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 近未来の事業を検討する際に、イメージを具体化しやすい。
- 社内で議論する際に提供価値への具体化手順が確認でき確信を持った展望につながる。
- 環境・資源・収益の仕組み・提供価値などのチェックポイントを網羅しており漏れがない。

これまでを振り返り、将来を描く



経営デザインシートを活用した感想・効果

- 会社全体の経営をデザインする上で、まず簡易版にイメージを書き込み、その後数種類ある補助シートを作成した。順を追って作業することで課題に気づき、全体像が見えてくる仕組みになっており、流れの中でゴールにたどり着くことが出来るととても便利なシートである。
- これまでのことを改めて振り返り、将来のありたい姿を思いながらどんどん書き込んでいくことが出来るので、ポジティブな気持ち、感覚で将来の戦略を描いていくことが出来る。

想定される未来への対応のための自己革新

下記手順で、個人作業により取り組んだ

- ① 現業の価値（将来性）評価とSWOT分析
- ② 未来の想定事業環境の要因整理
- ③ 未来の経営デザイン素案①の立案
- ④ 現在の保有資産と不足資産の整理
- ⑤ 保有資産の昇華戦略
- ⑥ 不足資産の調達戦略
- ⑦ 素案①のブラッシュアップによる素案②の立案
- ⑧ 未来の想定事業環境と素案②の検証
- ⑨ 移行の課題整理
- ⑩ 課題解決策の整理
- ⑪ 最終案の作成

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 未来からのバックキャスト思考順序が段階的に整理されていて大変有効なツールと感じた。
- 激変する未来を仮定すると現業務継続の否定から入る方が新しいデザインが描きやすいと感じた。
- 経営デザインを明確にしておくことで、日々の視点が変化し、未来のチャンスを見逃さずアクションに移せると感じた。